

学校図書館経営方針

平成27年4月6日

図書館担当 泉頭

1 学校図書館教育の目標

- ・図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して、豊かな人間性を育てる（読書活動）
- ・図書館を活用することを通して、意欲的に学び情報を活用する能力を育てる。（情報活用）

2 読書活動

(1) 日常的な読書活動

①通常貸出

- ・1人2冊まで。期間は1週間。朝（8：00～8：10まで）、業間、昼休み。
- ・図書委員会の児童または学校司書のTさんによって貸し出しをする。

②おすすめ本（学年必読図書）の薦め

- ・個人でもっているおすすめ本のファイルに必読図書のプリントがとじてある。6年分とじてあるが、必要があれば見直しを行う。
- ・学年ごとの必読図書を読み終えたらその都度シールを貼る。（担任または学校司書）1つ上の学年まではシールを貼ることができる。
- ・学年の必読図書をすべて読み終えたら、**校長先生から認定証**をもらう。
- ・6年生までの必読書をすべて読み終えると、**校長先生からグランド認定証**がもらえる。
- ・おすすめ本ファイルは各学級で保管し、持ち帰らないようにさせる。図書館の活動に関するプリント類もファイルにはさんでおく。

シールの色

1年・・・ピンク色

2年・・・水色

3年・・・緑色

4年・・・赤色

5年・・・青色

6年・・・黄色

- ・本かばんは机の横に常時かけさせ、借りた本を中に入れておく。

③朝読書（8：15～8：30）

- ・月、火、水、木（全校朝礼、図書館トレーニング、読み語りを優先）

④読み聞かせ

- ・月曜日と木曜日の朝活動の時間（ビーンズさんが入っていない時）に学校司書のTさんと特別支援員のSさんに読み聞かせに入ってもらおう。

⑤読書記録カード

- ・月末に読書記録を書かせ、振り返りをさせ、次の月の読書の目標を持たせる。

(2) 季節行事に合わせた読書活動

①全校読書（年3回程度）

- ・その都度起案をして実施する。

②親子読書（年1回）

- ・授業公開日に合わせて実施し、親子で読書を行う。

③お話スタンプラリー

- ・低・中学年の児童に管理職や学校司書等がお話しバイキングを行い、読書意欲を高める。

(3) おすすめ本の紹介

①先生からのおすすめ

- ・教職員から紹介されたものを実際の本とコメントを書いて掲示したり、図書館便りにのせたりする。

(4) 委員会活動

①常時活動

- ・本の貸し出し（登校後8：10まで）
- ・新聞クイズ作成

②全校読書企画・運営

③1年生への読み聞かせ

④おすすめ本の紹介

⑤集会（七夕・読書週間・節分）

⑥読書郵便

(5) 家庭・地域との連携

①地域ボランティア『お話ビーンズ』さんによる読み語り（木曜日）

- ・4月 日（ ）16：30～顔合わせ
- ・低学年・3年生で1人ずつ、4年生・高学年で1人ずつ。隔週で行う。
- ・スタートは4月16日で低学年から始める。

②家読の推奨

- ・家読カードを作り、6月、夏季休業、10月、冬期休業に実施する。

③保育園やポケット倶楽部への図書館開放

- ・カードを作り、本を借りたり読み聞かせをしたりする。

(6) 環境整備

①図書館廊下の掲示

- ・テーマや学習内容に沿った掲示をしていく。

3 学習情報センターとしての活用

(1) 日常における情報活用能力の育成

①朝学習における図書館トレーニング（スキルの育成）

3. 4年 }
5. 6年 } 隔週水曜日 1. 2年・・・実態に合わせ授業の中で
- ・図書館クイズ（山形朝陽第一小学校で実施しているクイズ）
 - ・辞書引き学習
 - ・要約学習

②図書館活用の時間の設定

- ・初回は、各学級を対象に図書館オリエンテーションを実施
 - ・図書館・情報活用学習年間計画にそって予定を立て、毎週 1 時間程度それぞれの学級に司書教諭も授業に入り、図書館活用に関する部分については指導する。毎月の予定は、図書館活用教育指導計画を作成し、お知らせする。
- (2) 一覧表を活用した計画的・系統的な指導
- 「H27 情報活用能力指導の体系表」を参考にして計画を立てる。
- (3) 学校司書との連携
- ・発展学習や調べ学習のための選書や資料の用意（新聞記事のファイルも）
 - ・個別の支援
- ## 4 その他
- (1) 図書館便り（ケロケロっうしん）
- ・家庭や児童へ向けて主として月に1度の割合で、学校司書が作成する。先生方からのおすすめ本の紹介をのせてもらう。